

働き方改革をカタチにした サテライトキャンピングオフィス

独自のワーキングスタイルに挑戦して働き方改革を追求し、アウトドアの長所とITテクノロジーを融合したキャンピングスタイルのオフィスを浜松駅前に開設したノキオ。奇想天外なこのオフィスには、どのような機能が備わっているのか。そして、人々の働き方にどのような影響を与えるのだろうか。



人口芝の緑が広がるサテライトキャンピングオフィスでは、大画面モニターを介して本社の社員とリアルタイムのコミュニケーションができる。モニター台の“すのこボックス”や照明などは前出のデクシが製作・設営に協力

株式会社 **NOKIOO** (ノキオ)

●中区砂山町(浜松駅南サテライトオフィス)

2011年創業。子育て期の女性の社会参画支援・プラットフォーム事業、ウェブマーケティング支援・コンサルティング、ウェブソリューションサービスなどを手掛けるITベンチャー企業。現在社員は23人。

浜

松駅に程近いビルの8階にあるノキオのサテライトオフィス。約27平方メートルのフロアには人口芝が敷き詰められ、キャンピング用のテーブルセットが並び、BGMは鳥のさえずりと川のせせらぎ。晴れた日には窓の外に青空が広がり、キャンピング気分を味わえる。本社とはオンラインでつながっているため、大型モニターを介して本社の社員との会話もできる。

自然のリラックス効果で、 会議の成果が3割アップ

創業以来、フリーアドレスなどを採り入れた新しいワークスタイルにいち早く取り組んできた同社では、社員の増加と事業の拡張に伴って出張の機会が増えたため、駅前で仕事や商談ができる「攻めのオフィス」として昨年12月にサテライトオフィスを開設した。

そこにただ事務机を並べるのではなく、同社の働き方やITソリューションを宣伝する場として役立てようと、自然が持つ効果とITを融合させたキャンピング風のオフィスを実現。現在はサテライトオフィスとしての用途に加え、社

内ミーティングや新卒採用の説明会、ミニセミナー、他社との協働・共創の場として幅広く利用している。

キャンピングオフィスのメリットは、第一にテーブルや椅子が軽いので移動が楽にできること。会議の際も話し手の方向へ簡単に椅子を向けられるので、話を聞きやすいし、話し手も聞き手の表情をくみ取れて発言に深みが増し、会議が活性化する。

また、会議中でも人口芝の上で自由に体を動かしてリラックスできるのも、緊張や眠気を解消できる。自然音のBGMは会議での沈黙の緊迫感を払拭。一方、商談時に窓から富士山が見えれば会話が生まれ、相手との距離も縮まる。

「体感値として、会議の成果は従来の3割増しです」と小川氏。

同社では現在、本社と東京支社、サテライトオフィスの3拠点をフリーアドレス化し、社員が自身の裁量で働く場所を決めている。本社の一部にキャンピングオフィスも導入済みだ。今後は県西部の企業を対象に、キャンピングオフィスの提案を通じて働き方改革、ひいてはITツールの普及を目指す。

